

ロービジョン支援ホームページ更新調査報告

A report on the survey done to update the website content on low vision service

西脇 友紀（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

仲泊 聡（理化学研究所多細胞システム形成研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト）

清水 朋美（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

林 知茂（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

Yuki NISHIWAKI (Hospital, National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities)

Satoshi NAKADOMARI (Laboratory for Retinal Regeneration, RIKEN Center for Developmental Biology)

Tomomi SHIMIZU (Hospital, National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities)

Tomoshige HAYASHI (Hospital, National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities)

要旨：

目的：全国に多数存在する視覚リハビリテーション関連施設で行っている支援内容を明らかにする。
方法：2015年11月、視覚リハビリテーション関連の202施設を対象に、点字、パソコン、歩行訓練など27の支援項目のうちロービジョン支援ホームページに掲載可能な項目について調査を行い、結果を1) 支援項目別、2) 「点字図書館」における支援項目別、3) 都道府県別（現在掲載中の施設を含む）に集計した。結果：1) 多い順に点字80%、パソコン53%、歩行訓練49%であった。2) 点字図書館は39施設で、支援項目は多い順に点字87%、パソコン44%、視覚支援の情報提供36%であった。3) 関東圏ほか都市部に多い一方、未掲載地域が1県、1施設のみ掲載されていた県が23県あった。考察：視覚に障害を持つ者のニーズ変化に対する注視と視覚リハサービスの地域格差の是正が今後の大きな課題である。

キーワード：ロービジョン支援ホームページ、視覚リハビリテーション関連施設、点字図書館

1. 目的

仲泊ら(2013)は、平成22～24年度厚生労働省科学研究「総合的視覚リハビリテーションシステムプログラムの開発」で、視覚障害がある者への包括的支援と実態調査を同時に行えるシステムの構築を試み、その中核となるソフトウェア「ファーストステップ」を作成した。このプログラムはインターネット上に置かれており、支援者が被支援者の日常生活動作等

に関する20問前後の質問に回答すると、その回答に応じて被支援者に必要と思われる支援項目が表示される。そしてそのリンク先(<http://shikakuriha.net/>)には、ロービジョン支援ホームページ（以下、HP）が設けられ、各支援項目の詳細な内容と被支援者が居住する地域の近くで支援を受けられる施設のリストが表示される仕組みになっている。このリストは、仲泊ら(2013)および西脇(2015)の先行調査の結果を元に作られており、定期的な更新作業が行われている。

今回、更新作業に伴い、全国の視覚リハビリテーション関連施設（以下、視覚リハ施設）を対象にリストへの情報掲載可能な支援項目について調査を行った。また、視覚リハ施設の中には点字図書館と称する施設が多数あるが、対応内容は施設毎に異なるため名称のみからでは対応内容が不明確である。そのため、今回、点字図書館と称する施設の対応内容について別に集計したので合わせて報告する。

2. 対象と方法

2015年11月、社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会（2015）の会員施設のうち、盲人用具部会を除いた186施設¹⁾（点字出版部会26、情報サービス部会86、自立支援施設部会48、生活施設部会26）および現在リスト掲載中で前記に含まれない16施設の計202施設を対象に、郵送または電子メールによる調査を行った。調査の内容は、点字、パソコン、歩行訓練など27の支援項目が書かれた回答用紙に、ロービジョン支援HPに掲載可能な支援項目のチェック欄にチェックしてもらうもので、FAXまたは電子メールでその結果を送付してもらう方法で行った。

結果を1) 支援項目別、2) 「点字図書館」における支援項目別、3) 現在掲載中のリストと合わせた施設数を都道府県別に集計した。

3. 結果

回答率は58%であった。

1) ロービジョン支援HPのリストに掲載可能な支援項目として最も多く回答されたのは「点字」で94施設（80%）、次いで「パソコン（IT機器）活用」62施設（53%）「歩行訓練」57施設（49%）「日常生活訓練」52施設（44%）「視覚支援の情報提供」50施設（43%）「福祉制度活用支援」44施設（38%）「社会制度の情報提供」42施設（36%）と続いた（図1）。「その他の情報提供」については、対面朗読サービス、同行援護、食生活に関する情報提供、それぞれの地域のピア（視覚障害者）の紹介などが書かれていた。

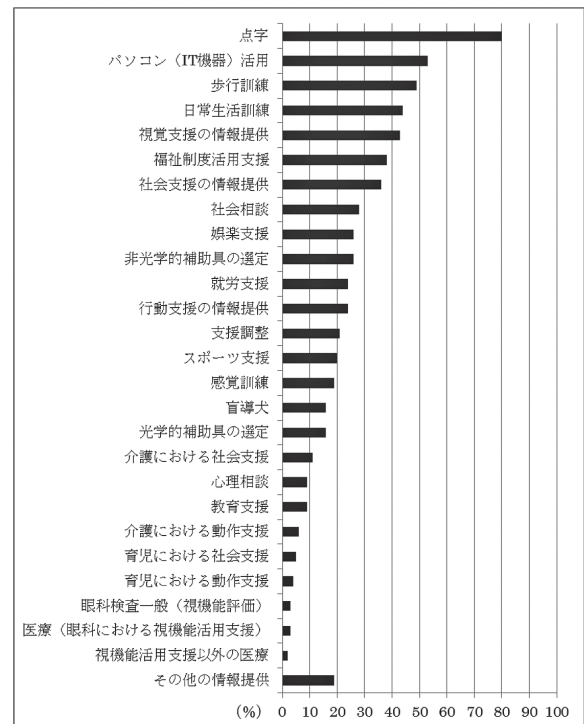


図1 ロービジョン支援HPへの掲載が可能な支援項目 (n=117)

2) 回答した117施設のうち「点字図書館（類似呼称含む）」は39施設（33%）で、全体の3分の1を占めた。多く回答された支援項目は、順に「点字」34施設（87%）「パソコン（IT機器）活用」17施設（44%）「視覚支援の情報提供」14施設（36%）「歩行訓練」10施設（26%）「社会支援の情報提供」10施設（26%）であった（図2）。一方「点字」の項目のみ回答したのは9施設（23%）であった。

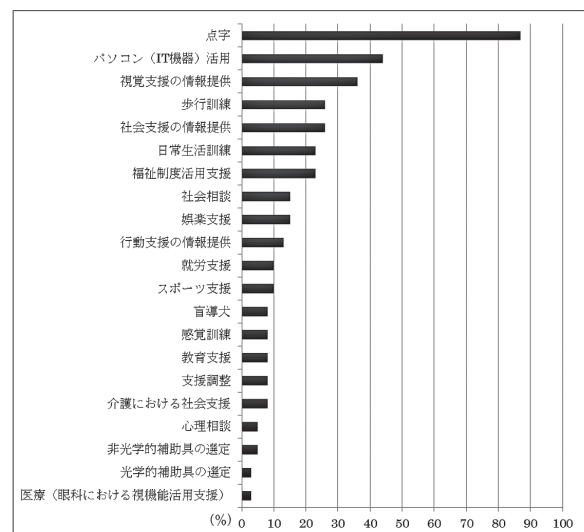


図2 点字図書館の回答：ロービジョン支援HPへの掲載が可能な支援項目 (n=39)

3) ロービジョン支援 HP への掲載可能施設数は、現在既に HP に掲載中の施設と合わせ、全部で 133 施設となった。都道府県別での施設数は、多い順に東京 23、神奈川 9、北海道 8、埼玉 7、大阪 7、一方、未掲載地域は 1 県、1 施設のみ掲載されている県が 23 県あった(表 1)。

表 1 ロービジョン支援 HP 掲載施設数(都道府県別)

地方	都道府県	掲載施設数
北海道	北海道	8
東北	青森	1
	秋田	1
	岩手	1
	山形	1
	宮城	2
	福島	3
関東	東京	23
	神奈川	9
	埼玉	7
	千葉	2
	茨城	1
	栃木	4
	群馬	1
中部	新潟	1
	長野	1
	山梨	1
	富山	1
	石川	1
	福井	3
	愛知	4
	岐阜	1
	静岡	2
近畿	滋賀	0
	三重	3
	京都	5
	奈良	1
	大阪	7
	兵庫	6
	和歌山	1
中国	鳥取	1
	島根	2
	岡山	3
	広島	2
	山口	3

地方	都道府県	掲載施設数
四国	愛媛	1
	香川	1
	高知	1
	徳島	1
九州・沖縄	福岡	5
	大分	1
	宮崎	2
	熊本	1
	鹿児島	1
	佐賀	3
	長崎	1
	沖縄	2

4. 考察

先行調査同様、視覚障害がある場合の二大困難である読み書き(点字・パソコン)、移動(歩行訓練)に関する支援を行っている施設が多かった。今回の調査では、各支援項目について、現在実際に行っているか否かは問うていないが、各施設が対応可能な内容について回答したものと考えられる。各種の情報提供をしたり相談を行っている施設の割合も高く、具体的な訓練まで行わない場合でも、各地域に相談窓口があれば、以降の方向性を考える際の有用な資源として利用できるものと思われる。

今回、別に集計した点字図書館またはそれに類似した名称を冠している施設は、回答施設全体の3分の1を占めていた。その中で視覚障害に関する各種訓練や情報提供を行っている施設がある一方、名称通り図書とその関連情報の提供のみを行っていると回答した施設もあり、各点字図書館での対応内容に大きな違いがあった。点字図書館が視覚障害に関する地域の基幹センターとして位置づけられている場合もあり、点字図書館の業務内容が変遷している様子がうかがわれた。

また、地域別で見ると関東圏ほか都市部への集中傾向がみられる一方、各県に1施設のみという地域も約半数を占め、大きな地域格差がみられた。

交通・運転事情やIT機器の普及など、視覚に障害を持つ者を取り巻く状況は大きく変化しつつある。それに伴い、視覚リハサービスの受け

手側のニーズ変化も予想される。今、そしてこれからの視覚リハビリテーション、視覚リハサービスに何が求められているのか、また、それを地域格差なく提供するためにどうすれば良いのか、私たちが一丸となって取り組むべき今後の大きな課題であると思われる。

謝辞

本調査は厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業感覚器障害分野（H25- 感覚 - 一般 -005）の助成を受けた。

今回の調査にご協力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

註

1) 本調査は視覚リハサービスを提供している施設を対象としたため、社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会（2015）の会員施設の

うち「視覚障害者に関わる機器製造や販売にあたる施設または企業」である盲人用具部会は除外した。

文献

- 1) 仲泊聡・西田朋美・飛松好子・小林章・吉野由美子・小田浩一・神成敦司（2013）総合的視覚リハビリテーションシステムプログラム「ファーストステップ」. 視覚リハビリテーション研究, 3(1), 8-22.
- 2) 西脇友紀（2015）わが国における視覚障害関連施設の概要. 次世代視覚障害者支援システムの実践的検証（H25- 感覚 - 一般 -005）研究代表者 仲泊聡 総括・分担研究報告書, 71-77.
- 3) 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会（2015）日盲社協会員施設一覧
<http://www.ncawb.org/shisetsu.html>
(2015/10/31)